



2022-01

2022年1月5日

2022年 社長年頭挨拶（要旨）

株式会社近鉄エクスプレス（本社：東京都港区）は本日午前8時半より、当社本社にて2022年
年賀式を行いました。社長の鳥居伸年の年頭挨拶（要旨）は以下の通りです。

皆さん、明けましておめでとうございます。

また新たな一年が始まりました。

新型コロナウイルス感染症は、世界中で全く予断を許さない状況が続いています。2022年ほどの
ような年になるのか、先行きの予測が非常に困難な状況であることには変わりはありませんが、各国
においては経済活動、社会活動の再開への動きが活発になることは間違いありません。

一方で、各国の入国規制は続き、人流が戻らない状況は暫く続くと推測され、航空貨物輸送につ
いては、2021年と同程度の物量にて推移する場合、昨年と同様なスペース不足に見舞われると思わ
れます。

また、海上輸送に関して、船社の統計によると、2022年度の海上輸送物量が前年比で8%増加の
予想に対し、船腹の増加は5%とのことであり、また、今夏には北米西岸港湾の労働協約の更新が
予定され、港湾業務に大きな影響を及ぼすことが懸念されています。予想通りに物量が推移する状
況で、北米西岸港湾の労使交渉が難航して港湾ストが実施された場合、サプライチェーンがさらなる
混乱に陥ることは明白です。

2年前の2020年は、新型コロナウイルスの感染リスクが高まる中、KWEグループ全社員の皆さん
には、エッセンシャルワーカーとして頑張ってもらい、2021年は、世界の経済・生産活動が再開され
る中で、コロナ禍に端を発する世界規模の海上、航空の物流の混乱下において、お客様のサプライ
チェーンを維持するために努力して頂きました。皆さんの「頑張り」と「努力」に改めて心か
ら感謝を申し上げます。

2022年も昨年と同じような環境下、我々の使命である「如何なる時もお客様のサプライチェーン
を維持すること」を果たすため、皆さんには一層の努力をお願いすることになりますが、引き続
き、宜しくお願い申し上げます。

皆さんの頑張りとお力のおかげで、当社の業績は好調に推移していますが、これは異常な状態
下のものであり、早晩、必ず通常の状況への揺り戻しが起こるでしょう。ただし、人々の価値観も含
め、コロナ前と同じ状況に完全に戻るかは定かではなく、アフターコロナを見据えて、それぞれの
職場において「どのような状況でもやるべきこと」をしっかりと見定め、本年も仕事に取り組んで
頂きたいと思っております。

最後になりますが、手洗い、マスクの着用など、職場、家庭内、通勤時などにおいても感染予防

に引き続き留意をして頂き、本年も乗り切りましょう。

本年も宜しく願いいたします。

代表取締役 社長執行役員
鳥居 伸年

以 上